

## 【別紙】

### 新庁舎検討市民委員会ワークショップでのご意見

#### 1. まちづくりと本庁舎

##### (1) 虎渓用水広場との連携

- ・ 虎渓用水広場は、新庁舎の庭との位置付けとする。
- ・ 虎渓用水広場に屋根を付けると、雨天時にも対応でき、利用の幅が広がる。
- ・ 1、2階をガラス張りとすることで、新庁舎内から広場が、広場から新庁舎内が見え、一体感が増す。虎渓用水広場から見える1階を市役所の顔とする。
- ・ 新庁舎のどこからでも虎渓用水広場に出られるとよい。
- ・ 新庁舎と虎渓用水広場の間を緑地とし、虎渓用水広場との連続性を高める。
- ・ 新庁舎の屋上に市民の集える庭園を作り、虎渓用水広場と連携して一体的に運用していくとよい。
- ・ 虎渓用水広場のキッチンカースペースを増やせば、食堂の代わりとなる。

##### (2) 駅北における広がり、一般開放

- ・ 他市の例では、駅の待合室のように利用されている庁舎、勉強ができるスペースや貸しスペースがある庁舎、1階が図書館とカフェとなっている庁舎があった。このような使い方があってもよい。
- ・ ICTの活用により来庁の必要性を減らすことでスペースを削減し、新庁舎1階は市民が利用できる場所になるとよい。
- ・ 議場を低層階とし、多目的利用する。
- ・ 市民が自然に集まるような新庁舎とするため、議場を1階にして議会の無い時に市民に開放するとよい。
- ・ 来庁者用駐車場、会議室等のスペースを開庁時間外に活用するとよい。
- ・ オープンスペースはコストがかかるという側面もある。
- ・ 時間外の施設・設備の活用は、管理に課題がある。
- ・ 職場というイメージが強いと、人は寄りつかない。職場としてより、市民にとっての利便性を打ち出していく必要がある。
- ・ 新庁舎に民間施設を入れたらどうか。しかし、賃借料が高額で困難とも想定される。

##### (3) 駅南との連携

- ・ 駅南再開発と新庁舎、それぞれの役割を考える必要がある。
- ・ 駅南の人が、車で線路をわたることなく駅北に行けるようになるとうい。

##### (4) 市全域への波及効果

- ・ まちづくりの一環としての庁舎のあり方を提示していく必要がある。
- ・ 多治見市は自然と市街地が近く、コンパクトにまとまっているのが特徴(利点)である。これを活かしたまちづくりと新しい庁舎体制にすべき。
- ・ 新庁舎は市を代表する公共建築物として、多治見らしいデザイン性を備え、かつ安全、コンパクト、高機能、SDGsの視点を取り入れた庁舎にして欲しい。
- ・ 民間では採算が取れないが、公共施設だから出来ることがあると思う。

## (5) にぎわいの形成

- ・駅直結の市役所は、近隣市では例がない。多治見のまちづくりのキーワードになる。
- ・市民の交流施設の中に新庁舎があるようなイメージで建物を造るとよい。
- ・人が立ち寄れるスペースを設け、にぎわいを形成していく。低層階が鍵となる。
- ・新しい庁舎体制で交流人口を増やすためには低層階にどのような施設を入れるのが重要である（現本庁舎の部署は、高層階に入れるべき）。
- ・交流人口を増加させる手段として新しい庁舎体制を機能させるため、来庁する人を想定・調査することが重要（学生や多治見市に來訪するビジネスマンなど）。
- ・用事がなくてもふらっと来たくするような新しい庁舎体制にすべき。
- ・来庁者駐車場を使用しない時間帯を活用し、キッチンカーで人を呼び込む。
- ・新庁舎の低層や屋上階は、多治見市観光協会や文化振興事業団に委託すると様々なアイデアで運営できるのでないか。
- ・中之郷ビルディングの上層階にも多目的ホールがある。民業圧迫にならないよう差別化が必要である。
- ・新庁舎を活用したまちづくりのアイデアを付近の住民や地権者（特にコインパーキング経営者）に聞いてみるとよい。
- ・週末に、新庁舎で何も行われてないという空間にはしたくない。
- ・庁舎自体でにぎわいを形成するのは難しいのではないか。

## (6) 災害対応

- ・災害時にパニックにならない、困らないような庁舎にしておくべき。
- ・新庁舎に FMPiPi のサテライトがあったらよい。災害時の連携もスムーズにできる。
- ・災害時の避難所としての役割をもたせることも必要である。
- ・長期間の大災害だけでなく、帰宅困難者への対応も想定しておくことが必要である（会議室等の活用）。
- ・非常食の備蓄が必要である。

## 2. 利用者にとっての本庁舎

### (1) 各種手続の利用（市民）

- ・行政手続のオンライン化が進む中で、高齢者や情報弱者など、本当に困っている人に対して、手厚いサービスを提供する庁舎としていくべき。
- ・将来的に、市役所の役割は、市民交流の場所としての役割が増していくのではないか。それに対応できる新しい庁舎体制とすることで、利用者の満足度を向上させていける。
- ・ネットワーク型コンパクトシティを実現するにあたり、各地区事務所で全ての手続が出来るようにすべき。そうすれば新庁舎もコンパクトな建物にできる。
- ・地区事務所で、多くの手続が出来ることを広報し、庁舎と地区事務所の役割分担を明確にするとよい。
- ・根本交流センターは、これまでの施設より機能がコンパクトにまとまっており、使いやすい。新しい庁舎体制も様々な機能を集積できるとよい。
- ・来庁者の利便性を考えた部署の配置換えが必要である。
- ・手続の入口（窓口がどこか）を分かり易くすべき。

- ・分かり易く簡単に手続が出来るようになるとうい。
- ・駅北庁舎にある課等を入れ替えるか検討する必要がある。
- ・若い人も高齢者も来やすいようにして欲しい。
- ・日本人以外の人口が増えているので、それに対応する必要がある。

## (2) ワンストップ

- ・白菊コーナーのように1箇所で手続を済ませるようにしたい。
- ・ワンストップに出来る業務を検討する必要がある。

## (3) ICTの利活用 (DX)

- ・DXやAIの活用で来庁の必要性を削減することが必要である。
- ・自宅から、何でも出来るようになるとうい。

## (4) 公共交通の維持 (交通手段)、交通渋滞の解消、来庁者駐車場

- ・車でなくても来庁できる仕組み作りが重要である。
- ・新庁舎の駐車場整備の是非は、将来の需要や公共交通の施策と合わせて考えていくべき。
- ・駅南再開発の駐車場を活用し、出来る限り車以外の手段で来庁してもらおう。
- ・車を使わなくても済むよう、自転車置場を作るべき。
- ・駅南再開発は、自転車駐車場も十分な台数が整備されている。
- ・駐輪場は、無料にすると通学、通勤の人で埋まってしまう。
- ・レンタル自転車の人気が高いので、もっと拡がるとよい。
- ・未利用の市有地から、多治見駅にシャトルバスを出すことにより、送迎車が減るのではないか。

## (5) 生産性の向上

- ・職員の仕事場として、安全・快適・効率的な庁舎であることが重要である。
- ・機能的な新庁舎を建設しても、生産性の向上は市役所だけでは困難。第三者の意見を取り入れて仕事のやり方を変えていく仕組みを作ることが必要である。
- ・新入職員が入庁したくなるような新庁舎にすべき。

## (6) 食堂

- ・1階に食堂があってもよい。
- ・食堂を一般の人が入りやすい場所に設置してはどうか。
- ・特徴 (例：タニタ食堂のようなもの) が必要であり、来ると楽しい場所とするのがよい。
- ・現在、駅周辺は食事 (特にランチ) の場が少ない。新庁舎には食堂を設け、市民が交流するきっかけの場所として機能するとよい。
- ・昼間は食堂、夕方から夜は貸しスペースとして活用するのはどうか。

## (7) 売店

- ・ネット通販の拡大で、駅周辺では物販の店は成り立たない。飲食や娯楽 (人の交流

が生まれるスペース)であれば可能性はある。

#### (8) 設備及び接客

- ・利用者にとって、入り易く、利用し易くて、明るい(照度のみでなく、職員の態度も)ことが重要である。
- ・新庁舎への入口の数を増やして、自然と利用者が中へ入り易くするとよい。
- ・来庁者と職員が目合うような机の配置やカウンター設置の仕方を検討してほしい。
- ・土岐市役所は入口付近にカフェが有り、入りやすい雰囲気がある一方、窓口が広過ぎる点(受付カウンターが長い)は、利用しにくい。

### 3. その他

#### (1) 移住定住推進、観光

- ・庁舎内にイベントのサテライトスペースがあるとよい。
- ・陶器のアピールや販売の場所がないので、観光案内のブースも欲しい。
- ・駅南北通路に観光案内所があるが、もっと目立つとよい。
- ・自由通路に掲示されているポスターを、よりきれいに掲示できる場所があるとよい。
- ・多治見市は災害が少なく、観光資源も多く、さらに、観光施設同士が近くて周回しやすいのも利点である。もっとアピールすべき。

#### (2) バリアフリー

- ・駅南北通路と駅北庁舎との連結のために、高低差ができると思うが、可能な限りバリアの少ない、利用し易い建物にしたい。

#### (3) 現本庁舎の利活用

- ・現本庁舎の建物を使って、何かに活用していけないか。
- ・現本庁舎の建物をそのまま活用するのは、耐震性の観点からお勧めは出来ない。
- ・現本庁舎の建物は、老朽化していて、現状のまま使うことは難しい。
- ・現本庁舎をどうしていくかは、各種の専門家などのプロの意見が必要になると思う。

#### (4) 駅北の市街地整備

- ・現在の駅北周辺は民営コインパーキングが多いので、土地の高度利用が図られるように誘導すべき。
- ・駅北地区は、平面駐車場が多いというイメージがある。都市計画としては、高度利用が望まれるエリアである。

#### (5) 新庁舎建設費

- ・本当に52億円でできるのか、建設単価が上がってきている。
- ・現在の相場を考えると、この先も値上がりするのではないか。

—以上—